

基本目標	1. 安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	(1) 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり

<第1回委員会>

開催日：令和元年12月17日（火）

二宮町政策評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input checked="" type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
<p>評価の基準</p> <p>①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合</p> <p>②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合</p> <p>④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合</p>			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
<p>▽ 施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ KPIが達成していることと、成果および事業の進捗が見られる。 ・ 有効に活用するための面積削減ではなく、ただ削減するための目標に見えてしまうため、中身の伴った削減にする必要がある。東大跡地の活用など転入者を増やす魅力となりうるが、他の町有地の活用などに町のスタンスが見えず、計画的でない。 ・ KPIの成果は良いが、町民の利便性向上を含めたコンパクトさの考えが見えず、KPI達成の意義が見出せない。 ・ 公共施設をどのように自治体が持つかは議論が難しく、KPI達成だけで①とするのは評価が高すぎる。 ・ 人口減少社会を見据え、削減は仕方ないが少なくともその機能はどこかが引き継ぐなど、サービスの削減にはなっていない。 ・ 果樹園跡地の取り組みは突出して進んでいると考えるが、全体に広がっていない。 ・ 新庁舎建設に関しては当初の計画がずさんで行政に対する信頼が損なわれたように思える。計画の見直しが計られているが、<u>将来の町有地、公共施設の活用の全体像が全く見えず町政が停滞しているように見える。</u> 	

<第2回委員会>

開催日：令和2年1月17日（金）

二宮町政策評価委員会としての「意見」
<p>※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。</p> <p>施策「公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>公共施設再配置・町有地有効活用実施計画に示した町有地や公共施設のあり方について、東大果樹園跡地の利用など一部の取り組みが前進していることは認められるものの、全体としての進捗が見えないことと、延べ床面積等の削減目標が機能の引継ぎや利便性の向上を含めた中身の伴った削減として見えない部分がある。今後は、計画の内容や目標、進捗などを町民と共有できるよう情報の発信について力を入れるなど、計画推進にあたって改善すべき点がある。</p>

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	1. 安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	(2) 誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり

<第1回委員会>

開催日：令和元年12月17日（火）

二宮町政策評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった		<input checked="" type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった
<input type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
<p>評価の基準</p> <p>①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合</p> <p>②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合</p> <p>④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合</p>			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
<p>▽ 施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通いの場など、さまざまに活動がされているのは知っているが、それらの取り組みがさらに広がってほしいと考えるが、取り組みが町民にどこまで伝わっているかについて課題がある。 ・ 運動習慣がある人の割合が徐々に上がってきていることは評価した。また、成果として、障がいがある方やその家族の生活に必要な支援を実施したという文言を評価した。 ・ 今後新しい評価指標として、二宮の町民の特徴である健康事情を考慮した指標としてもらいたい。そのような指標でないことから評価しにくい。 ・ 高齢者のイベントや、高齢者でなくても認知症の理解を深める講座などもあり、取り組みはされていると感じている。ただ、町は「必要があったら来てください」というようなスタンスに感じられ、必要としている方にその情報が届いているのかわからない。 ・ 健康づくりの取り組みは、説明や周知のポスターの作成など、かなり力を入れていてすごいと感じる。ただ、どこまで町民に知られているかに疑問があり、もっと取り組みを広げてもらいたい。 	

<第2回委員会>

開催日：令和2年1月17日（金）

二宮町政策評価委員会としての「意見」
<p>※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。</p> <p>施策「誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり」について、目標達成に向けた進捗は概ね順調ではあるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある。</p> <p>地域の通いの場など、評価できる取り組みが複数あるものの、その取り組みがどこまで町民に伝わっているかという課題と、支援を必要としている人に行き届いているかについて確認する必要があり、取り組みの広報およびアウトリーチを含めた支援を必要とする人へのサービスの提供方法について検討する必要がある。</p> <p>また、健康寿命という評価指標について、町でも課題があると認識し新たな指標の設定を検討するようであるが、町の特徴を捉えた健康事情に配慮した指標となるよう考慮すること。</p>

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	1. 安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	(3) 地域コミュニティの醸成支援

<第1回委員会>

開催日：令和元年12月17日（火）

二宮町政策評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
<p>評価の基準</p> <p>①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合</p> <p>②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合</p> <p>④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合</p>			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
<p>▽ 施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コミュニティの醸成になる取り組みを感じられなかった。 ・ 指標について課題があると感じた施策である。例えば、取り組み認知の媒体の発行数など、活動を広報していくところに力を入れてはどうかと考えた。また、今の指標でも達成度合いが悪い。 ・ 確かに一色小学校区地域再生協議会は、広報なども含めてすばらしい活動がされていると思う。しかし、その活動が全町的に広まらない。 ・ 一色地区の取り組みが評価されるものであるなら、他の地域でも積極的に取り入れてもらいたいし、それが無いのはもったいない。 ・ 一色小学校区地域再生協議会の活動は活発であるが、町全体への地方創生の効果は限定的であるため、町全体の活動へ拡大する必要がある。 	

<第2回委員会>

開催日：令和2年1月17日（金）

二宮町政策評価委員会としての「意見」	
※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。	
<p>施策「地域コミュニティの醸成支援」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>一色小学校区地域再生協議会の活動は、広報面も含めすばらしい活動だと思われるが、このような取り組みが全町的に広まらないため、地方創生としての効果が限定的と言わざるを得ない。</p> <p>町全体として、地域コミュニティの醸成支援の取り組みが町民にあまり知られていないことから、町民に対する積極的な情報提供とともに、一色小学校区地域再生協議会の取り組みなど、地域活動に有効となる先進事例の紹介など、地域活動の活性化に資する取り組みの更なる推進が必要である。</p>	

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	1. 安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施 策	(4) 災害や犯罪に備える地域づくり

<第1回委員会>

開催日：令和元年12月17日（火）

二宮町政策評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
<p>評価の基準</p> <p>①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合</p> <p>②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合</p> <p>④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合</p>			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
<p>▽ 施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハザードマップで指摘されていることに対して、改善しようとする取り組みが見えてこない。マニュアルの作成や防災訓練の実施など、やっていることは知っているが、どこを目指して何を重点的に実施していくかが見えないと、KPIなどの成果も見えてこない。 ・ マニュアルの作成は相当程度進んでいるので評価できる。また、アンケート結果から、この町は防災意識が強いと評価するのはできると思うが、行政の取り組みとして高く評価するのは考えなくてはいけない。 ・ 小さな町の強みとして町内の被害状況が早くわかり、早く発信するだけで、魅力の一つとして評価され、移住促進にもつながると考える。 ・ 防災訓練を実施している側の身としては、もっともっと町民の防災に対する意識を上げる必要があると考える ・ 地区単位で防災意識が高まっている。防災指導員の育成プログラムにそって地区別防災マニュアルの策定が進んでいる。 	

<第2回委員会>

開催日：令和2年1月17日（金）

二宮町政策評価委員会としての「意見」
<p>※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。</p> <p>施策「災害や犯罪に備える地域づくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>地区防災マニュアルの策定などについて、一定の進捗があることは評価できるが、行政としてハザードマップで課題となっている点への対応や重点的に取り組むべき内容が明確にされていない。</p> <p>特徴的な防災の取り組みは町の魅力につながるため、小さい町の強みを活かし、情報収集・情報発信能力を強化するなど、対外的に打ち出せる特徴とすることで、複合的な効果が期待できる。</p>

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	2. 二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	(1) 「にのみやLife」の提案と発信

<第1回委員会>

開催日：令和元年12月17日（火）

二宮町政策評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった		<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった		<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>
<p>評価の基準</p> <p>①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合</p> <p>②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合</p> <p>④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合</p>			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
<p>▽ 施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な思いはあるものの、K P I を達成しているということはそれなりの評価に値すると考える。また、空き家の活用が1件あるということが大きな成果なのではと考えている。 ・ 移住経験者の協力を得るのは有効だと考えるが、逆に継続性を確保する必要がある。東京圏の人たちが二宮の海や東京大学果樹園跡地の取り組みに触れて、転入を考えるきっかけになると良い。 ・ 最近の外から来て新しい価値観を生み出している方が多くいるため、そのような活動を紹介して、移住につなげていけると良い。 ・ 移住促進のためのパンフレットは魅力的で非常に良くできている。ただ、ホームページは結果のみで、探し物は見つかりにくい。 ・ 人口減少の傾向は大きくは変えられないものだと思っている。そういう意味では移住フェアなどは成果が出ていると考える。また情報発信については工夫されていて、少しでも関心がある方向けに情報編成されていると思うが、たくさんの転入者に結びつくものではない。 	

<第2回委員会>

開催日：令和2年1月17日（金）

二宮町政策評価委員会としての「意見」
<p>※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。</p> <p>施策「『にのみやLife』の提案と発信」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>シティプロモーション事業は、特徴的な移住フェアの実施や工夫された情報発信などにより一定の成果が出ていると評価できるが、継続性を確保する必要がある。</p> <p>また、都心部の人たちが二宮の海や東大果樹園跡地の取り組みに触れて、さらに転入意欲を高める機会を作るため、お試し移住など更なる転入促進の取り組みについても検討する必要がある。</p> <p>なお、町のホームページについては、見にくいとの意見もあるため、移住促進の観点からも早急に改善について検討すべきである。</p>

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	2. 二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施 策	(2) 二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり

<第1回委員会>

開催日：令和元年12月17日（火）

二宮町政策評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
評価の基準 ①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合 ②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合 ④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
▽ 施策 ・図書館は特定の利用者がたくさん使っていて、使わない人は全然利用していないと考えるが、それでいいと思う。文化祭などは町民に知られていないのではないかと考える。 ・文化のKPIはラディアンの利用率はいいのに、アンケートではマイナスになっているため、指標そのものを変更したほうがいいと考える。 ・ラディアンや花の丘公園ではイベントがよく開催されており、賑わいがあると考える。また、図書館も花の丘公園で遊んだ親子が休憩として立ち寄っているところをよく見かけ、そのような活用があると思う。ただし、図書館をメインで利用する方から見ると物足りなさがあるようだ。その意味からも図書館のあり方について検討できると考える。 ・立地も良いが、500人のホールなど市民活動にはちょうど良い大きさのため、そこもアピールポイントになり、利用の増加につながられると考える。図書館については、近隣の大学と連携することで、蔵書にない図書を借りることができる制度がある。 ・ホールの利用が日中少ないのであれば、カラオケ利用などと合わせ高齢者に利用促進すれば、利用率もあがり、利用料も得られるのではないかと。 ・好立地等魅力がある菜の花やラディアンは、もっとアピールすることで利用率が向上できるのではないかと。また、KPIについてもそぐわないものがあるため、検討を要するのではないかと。	

<第2回委員会>

開催日：令和2年1月17日（金）

二宮町政策評価委員会としての「意見」
※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。
施策「二宮を知り、二宮に触れ、二宮を体験できる環境づくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。 文化拠点である生涯学習センターラディアンや、観光拠点である吾妻山については、立地や規模などが非常に魅力的であるため、多方面に対してさらにPR活動を展開することで、来客等を増やすことができると考える。 また、図書館についても近隣大学との連携などにより、さらに魅力的なあり方について検討できる要素がある。 なお、より説得力あるKPIとするため、単純な図書館来館者数ではなく、町民一人当たりの貸し出し数とするなど、検討する余地がある。また、文化に対するアンケート結果など、指標としてそぐわないものもあるため、精査する必要がある。

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	2. 二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施 策	(3) 特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成

<第1回委員会>

開催日：令和元年12月17日（火）

二宮町政策評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
<p>評価の基準</p> <p>①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合</p> <p>②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合</p> <p>④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合</p>			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
<p>▽ 施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人材不足の課題は、町だけで解決できる問題ではなく、県や国などへの働きかけが必要だと考える。 ・ 一色小学校はコミュニティスクールを先行して導入しており、学ぶだけでなく体験する取り組みが充実し、特色があると言える。今後、他の学校に広げていってほしい。なお、小中一貫のことなどビジョンが明確になっていない ・ 特色ある教育は転入促進には効果がある大きな魅力で、もっともっと取り組みを進めるべき分野だと考える。 ・ 二つのKPIは現場の先生方のご努力などもあり、順調に伸びており、しっかり評価することで、先生方の努力を認めることになる ・ 各校の学校運営協議会の設置に向けてコミュニティスクールへの理解度が深まった。特色ある学校教育の面から見た魅力ある町づくりに向けて、コミュニティスクールへの更なる理解とそれを推進するベースができたと思う。 	

<第2回委員会>

開催日：令和2年1月17日（金）

二宮町政策評価委員会としての「意見」	
※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。	
<p>施策「特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>施策に紐付けられた2つのKPIは、学校現場のご努力などにより、順調に伸びており評価できるポイントだと考える。また、先行導入した一色小学校のコミュニティスクールも体験活動などが充実しており、特色がある教育環境と言える。</p> <p>ただし、教育環境は町だけで整えきれものではないため、適切に国や県に働きかけるとともに、令和元年度にコミュニティスクールを本格導入した町内4校についても、先進事例を参考に学校ごとの特色が出せるよう働きかけをする必要がある。</p> <p>また、特色ある学校教育は転入促進にも効果がある大きな魅力の一つのなりうるので、懸案となっている小中一貫校の設置についても、十分に町民意見を踏まえたうえで方向性を示す必要がある。</p>	

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
施 策	(1) 子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり

<第1回委員会>

開催日：令和元年12月17日（火）

二宮町政策評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
評価の基準 ①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合 ②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合 ④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言いがたいような場合			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
<p>▽ 施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートでは20代、30代の世代がマイナス評価になっている。転入促進をするためにも、ここはもっと力を入れて行くべきだと考える。 ・ 二宮は近隣に比べ保育園や幼稚園が多くあり、待機児童0が達成できたと思う。数十年前を振り返っても子育て環境としては申し分ないと感じていたため、今の保護者がなにをもってアンケートにマイナス評価をしたのかが気になる。 ・ 子育て世代としては、数値的にそろえたけれど、まだまだ課題があるため、もっと頑張してほしいのと思う。子育て包括支援センターも18歳まで対象とのことだが、小学生の親からするとすでに対象から外れた印象があり、周知が足りない ・ 病後時や子育て包括支援センターなどの取り組みを着実にしているほか、他の市町で懸案になっている待機児童問題を解決したので、そこは評価したほうがよい。 	

<第2回委員会>

開催日：令和2年1月17日（金）

二宮町政策評価委員会としての「意見」
※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。
施策「子育て世代を見守り、支えるための妊娠期、出産期、育児期における切れ目のない支援と環境づくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。
子育て支援施策として、病後時保育事業の実施や子育て包括支援センターの設置など、取り組みは着実に進めているほか、他の市町で懸案となっている待機児童問題を解消したところは評価できる。
しかし、子育て世代の満足度が低いため、ニーズの分析をきちんとしたうえで、周知に力を入れ、事業を展開していく必要がある。

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶え、子育てを楽しめる環境をつくる
施策	(2) 子育てと仕事の両立の推進

<第1回委員会>

開催日：令和元年12月17日（火）

二宮町政策評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
<p>評価の基準</p> <p>①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合</p> <p>②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合</p> <p>④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合</p>			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
<p>▽ 施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家事・育児時間はアンケートの難しいところで、この数値がいいのか悪いのかわからない。また、役場男性職員の育児休業取得割合は、目標が高すぎてとても達成できないと感じる。 ・ 数値化しないといけないのはわかるが、男性の指標に偏りすぎではないか。指標について検討する必要がある。 ・ 町内に住んで町内で仕事をする人は少数派であり、モデルとするべきは町外に仕事に出る人だと思う。そう考えると前の施策に関連するが、子育てと仕事の両立の支援が進んだと言い切れない ・ 動線を考慮するのであれば、保育園の第1希望に入れている人の率などを指標にすると満足度が図れるのかもしれない。そういった意味で、この施策は指標の見直しをしないと評価が難しい 	

<第2回委員会>

開催日：令和2年1月17日（金）

二宮町政策評価委員会としての「意見」	
※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。	
<p>施策「子育てと仕事の両立の推進」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>本施策のKPIには課題があり、施策の進捗をこのKPIだけで判断することは困難である。よって関連性が高い前施策と一体的に評価し、子育てと仕事の両立の支援が進んだとは言い切れないと判断した。</p> <p>今後施策の進捗を判断するのに適切なKPIの設定について検討する必要がある。</p>	

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	4. 二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施 策	(1) 地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり

<第1回委員会>

開催日：令和元年12月17日（火）

二宮町政策評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
評価の基準 ①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合 ②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合 ④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言いがたいような場合			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
▽ 施策 ・ 取り組み自体を知らなかったことと、取り組みの結果が何につながるのか、イメージが持てなかった。外部からの転入促進と町内の商業振興はリンクしているので、もっと誰もがわかるように情報の発信方法について検討する必要がある。また、事業の継続性ととも、KPIについても成果が何につながったかについても設定することで、プロジェクトの進捗がわかると思う。 ・ 町も商工会もオーブをはじめとした特産品を使った商業振興に熱心に取り組んでいる。ただ、町民の方がその取り組みを知らないということは課題であり、資金を循環させるしくみともなっていない ・ 起業に関する相談件数は把握できると思うし、セミナーに参加した方で実際に起業した件数もわかると思うので、関心がある人がどのくらい創業しやすいのかという観点で指標を考えたほうが良いと考える。 ・ <u>①起業、創業支援や事業継承の支援強化のための講習会、相談会の実施②持続的発展への経営計画策定への支援、国・県の補助金の獲得③経営発達支援計画をベースにした小規模事業者支援推進事業などを商工会と連携してさらに推進することで施策の実現を目指す必要がある。</u>	

<第2回委員会>

開催日：令和2年1月17日（金）

二宮町政策評価委員会としての「意見」	
※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。	
施策「地域にしごとを生み出し、資金を循環させるしくみづくり」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。 町や商工会がオーブをはじめとした特産品を使った商業振興に熱心に取り組んでいることは評価できるものの、創業支援や事業継続支援について、より町商工会と連携して事業を推進していく必要がある。 また、商業振興への取り組みを一般町民が知らないということは問題であるため、誰もが取り組みとその目的についてわかるよう、情報発信の方法そのものについて検討する必要がある。 なお、KPIについても課題があると考えため、関心がある人がどのくらい創業しやすいのかという観点で指標を立てるなど、成果指標そのものについても検討する必要がある。	

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	4. 二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施策	(2) 町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討

<第1回委員会>

開催日：令和元年12月17日（火）

二宮町政策評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった		<input checked="" type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった
<input type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
評価の基準 ①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合 ②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合 ③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合 ④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言い難いような場合			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
▽ 施策 ・ 二宮町では面積的な問題もあり、大掛かりにはできないと考えるが、指標は一定数達成している。 ・ 自治体としてやらなくてはいけない分野ではあるが、難しい分野でもある。その中でも2施策実施できている。 ・ 0だったものが2になったのは大きいと感じる。 ・ 基本目標に対して「再生可能エネルギーの地産地消等の可能性」という施策自体の見直しが必要と思われる。	

<第2回委員会>

開催日：令和2年1月17日（金）

二宮町政策評価委員会としての「意見」
※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。 施策「町の環境を活かした再生可能エネルギーの地産地消等の可能性検討」について、目標達成に向けた進捗は概ね順調ではあるが、さらなる推進のためには、一部、施策を改善する必要がある。 基本目標に対して、施策の名称と取り組みがマッチングしているか疑問である意見はあるものの、施策に紐付けられたKPIは順調に推移し、すでに起業者がいることも評価できる。 今後、残る施策の達成に向け努力するとともに、施策の実施に伴う効果が得られるよう民間事業者等に適切な情報発信等を行っていく必要がある。

二宮町総合戦略評価に対する意見等

基本目標	4. 二宮町で安心して働き、仕事を生み出しやすい環境をつくる
施 策	(3) 身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出

<第1回委員会>

開催日：令和元年12月17日（火）

二宮町政策評価委員会としての「評価」			
※ 本委員会として、基本目標の達成に向けた施策の評価を、下記①～④よりお選びください。			
<input type="checkbox"/>	①地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	②地方創生に相当程度効果があった
<input checked="" type="checkbox"/>	③地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	④地方創生に対して効果がなかった
<p>評価の基準</p> <p>①全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに効果が得られたとみなせる場合</p> <p>②一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合</p> <p>③KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取り組みが前進・達成したとみなせる場合</p> <p>④KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取り組みとしても前進・改善したとは言いがたいような場合</p>			

各委員からの個別意見	※ 基本目標の達成に向けた町の取り組み（施策）に対する意見
<p>▽ 施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二宮での雇用は高くはないと考える。また、オリーブをはじめとする特産品による商業振興も、どのように雇用に結びつのかイメージできない。 ・ 人口減少が進んでいくなか、町民を相手にした商売には限界がある。そんな中、他県では空き家にインターネット環境を整え、無償で提供することで人を呼び込む取り組みをしているところもある ・ 農業参入数だけでしか評価できず、取り組みをしていることはわかったが、成果として出てくるのが難しい事業でもある ・ 「湘南オリーブ」プロジェクト戦略の推進を商工会と連携してさらに推進する必要がある。また、さらなる農商工連携に向けて産業振興課の役割の拡大を図る必要がある。 ・ 湘南二宮オリーブブランドのイメージアップをさらに図り、オリーブによる町おこしを推進して新たな雇用を生み出す産業化を進める必要がある。 ・ 二宮ブランド認定商品のPR強化と認定事業者の販路拡大の支援策を商工会と連携して行い、雇用創出を図る必要がある。 	

<第2回委員会>

開催日：令和2年1月17日（金）

二宮町政策評価委員会としての「意見」
<p>※ 第1回委員会で各委員から出された意見を事務局でとりまとめ、第2回委員会の資料として提示しています。</p> <p>施策「身近な地域で働く希望を叶えるための雇用創出」について、目標達成に向けた進捗は、事業開始前より前進しているがKPI達成状況などは芳しくないため、施策の一部改善を含め、さらに力強く推進する必要がある。</p> <p>身近な地域で働く環境づくりをするためには、就業・就農希望者のニーズを踏まえるため、町商工会や町農業委員会とさらに協力・連携して事業を展開していく必要がある。</p> <p>しかし、人口減少が進むなか、新たな形の就業体系も出現しており、コワーキングスペースなどを含めた新たな就業についても視野に入れた支援策についても検討する必要がある。</p> <p>なお、施策の進捗について評価するための成果指標は農業参入数しか参考にできなかったため、今後適切な成果指標の設定についても検討する必要がある。</p>